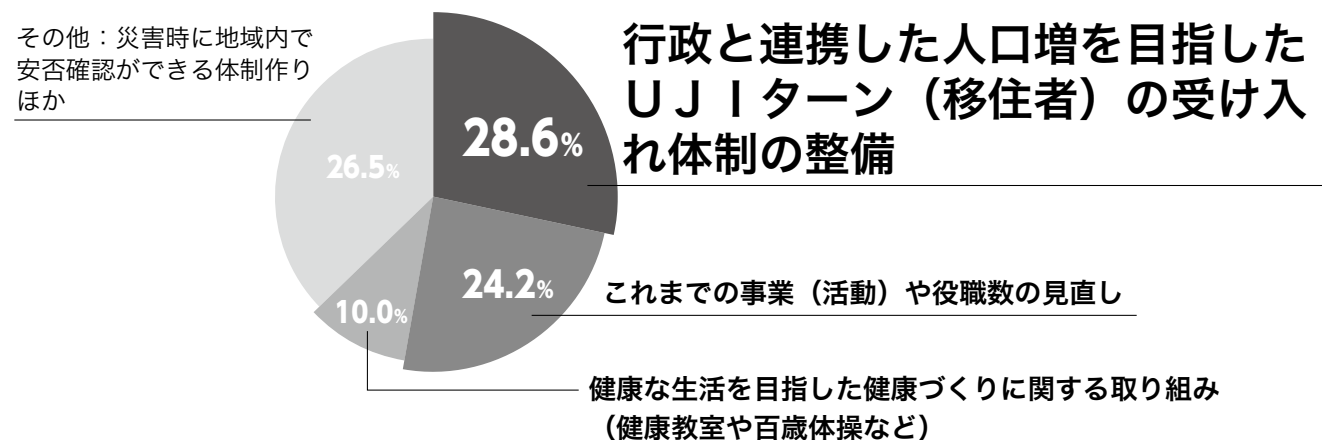


地域が主体的に取り組んでいかなければならないものや、地域の維持・継続について

Q. 地域として主体的に取り組んでいかなければならないと思うものは何ですか。



地域や町内会の維持には、UJIターン（移住者）の受入による人口増という答えと、これまでの事業や役職数の見直しが回答の半数以上を占めました。地域の人口が減少していること、そのために何かしなければならぬと考えていることがうかがえます。

Q. 今後、10年、20年後、今住んでいる地域だけで地域活動や生活の維持、継続はできると考えますか。

分からない ……43%

できないと思う ……31.7%

できると思う ……15.7%



Q. その中で「できないと思う」と回答した方にお聞きしました。地域活動や地域のつながりを維持、継続していくために必要と思うことは何ですか。

これまでの地区連合町内会とは別の新たな地域活動組織の形成と運営 ……40.7%

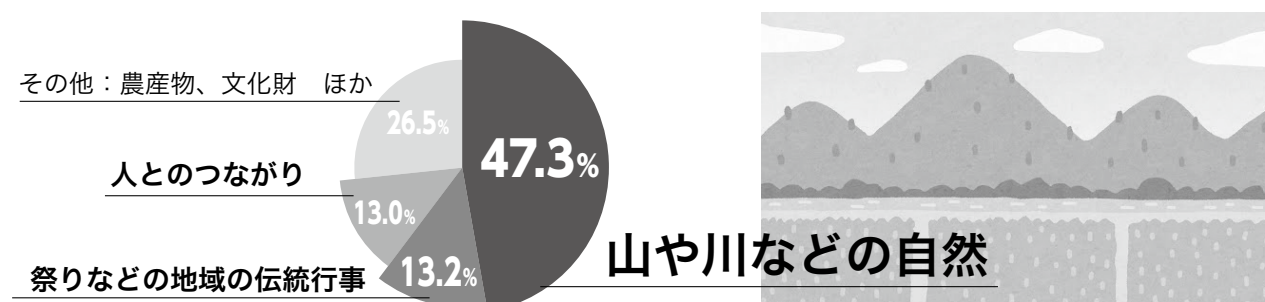
現在組織されている旧小学校区単位の地区連合町内会組織の充実 ……38.1%

その他 ……11.9%

わからない、できないと思うと答えた方が半数以上で、地域の人口減少を何らかの形で感じていることが予想されます。

舟形町は35の町内会から形成され、旧小学校区のつながりから4つの地区連合町内会を形成しています。アンケートの回答では、地区連合町内会の充実と、それとは別の地域活動組織の形成と運営については、ほぼ同じくらいの回答数となっております。また、関連した質問で、新たな地域活動組織のリーダーや事務局に主体的に関わっていけると答えた方は480人中20人でした。少子高齢化・人口減少という現状において、どのような取り組みができるのか、持続可能な方策をみなさんと一緒に今後の町内会ワークショップで検討していきます。

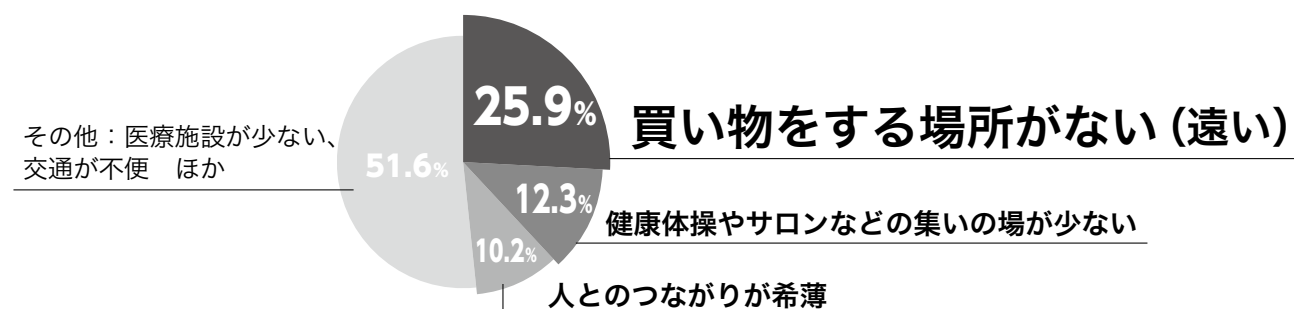
Q. 町内会や地域にあるもので、誇れるものや残したいものは何ですか。



山や川などの自然に続き、祭りなどの地域の伝統行事、人と人とのつながりを残したいと答えた方が半数を超えています。舟形の自然、自分の住んでいる地域、人とのつながりを大事にしていくことがこれからの地域づくり、まちづくりの大事なキーワードになっていくと考えられます。

生活の中で困っていることや、将来困っていくと思うことについて

Q. 現在、あなたが困っている、または不自由に感じていることは何ですか。



買い物をする場所ない（遠い）と答えた方が多く、買い物に困っている現状がうかがえます。大型の商業施設の誘致はこれまでの経過からも難しい状況ではありますが、車の運転ができない高齢者の方に対しては、乗合タクシーの活用による対応を図っていきます。また、「集いの場が少ない」、「人とのつながりが希薄」といった内容にも、地域における「いきいき百歳体操」等の展開から、地域の集まる場所づくりをサポートしていきたいと考えています。まずは、自発的な意識の醸成を図っていきます。

Q. 今後、10年、20年後、困難になる、または不安に感じることは何ですか。

